

### イタリア・サルミ普及促進協会が日本でキャンペーン実施

イタリア・サルミ普及促進協会(フランチェスコ・ピッツァガッリ会長、本部・ミラノ)は、EUとイタリア政府の支援を得て、DOP(保護指定原産地表示)やIGP(保護指定地域表示)の認定を受けたサルミ製品の価値とイタリアの優れたライフスタイルを伝えるため、日本における「SalumiAmo DOP キャンペーン」を実施する。「SalumiAmo」とは「Salumi」(食肉加工品)とりわけ豚肉加工食品と「Amore」(愛)という2つのイタリア語から生まれた造語であり、食肉加工品へのイタリアの情熱を表現している。キャンペーンの開催期間は2年間で予算総額は80万ユーロ。期間中は、日本の有名な料理教室で若手シェフを対象としたプログラムの開催や調理実演、提携レストランでの試食、日本各地で販売所の設置、食肉加工品の情報をまとめた冊子の配布などを実施する。

ピッツァガッリ会長は「私たちは日本との間に、友情と敬意を土台とする堅固な関係を築いてきた。伝統的な製品でつくられたサルミ製品は、味と品質にきわめて敏感な日本の消費者の舌と心を満足、満喫させられると確信している。ぜひメイド・イン・イタリアの食品の伝統と新たな付加価値を体験してほしい」とコメント。日本向けサルミ製品の輸出は、1999年に市場が開放された当初、輸出量は約499t、輸出額は約640万ユーロだったが、2015年の輸出量は約3358t、輸出額は約3420万ユーロ(約42億9200万円)にのぼる。現在では、日本はEUと米国に次ぐ、サルミ製品の重要な輸出先となっている。

### 「役員人事」ミート・コンパニオン、福島氏が執行役員に

ミート・コンパニオンはこのほど、臨時株主総会を開催し、次のとおり新経営体制を決議した。代表取締役社長 阿部昌史▽取締役会長 阿部徳次▽常務取締役・食品衛生研究所長 植村光一郎▽執行役員・ミートパッカー部長 小石伸市▽執行役員・原料商品部長 福島孝義(新任)▽監査役 阿部紀子(新任)▽監査役 阿部美穂。

### 「POSランク3月ハム」丸大食品「いつも新鮮ロースハム」首位

(ネット流通システム開発センター)が全国の小売業者約150チェーン・1032店舗を対象に収集した3月POS/ハム製品売れ筋ベストランキング(資料面参照)によると、前月2位の丸大食品「いつも新鮮ロースハム パック」(36g×4)が首位を奪還。2位、3位には伊藤ハム「朝のフレッシュロースハム」(37g×3)、同(37g×4)がそれぞれランクインした。4位は前月に続いてプリマハム「新鮮使い切りロースハム」(40g×3)。5位には日本ハム「彩りキッチンロースハム」(40g×4)が浮上した。そのほか、プリマハム「新鮮使い切りロースハム」(40g×4)が前月から大きく順位を上げ、ベスト10入りしている。総販売金額は5億2948万円。